

まちづくりの将来像をまとめる手順

ゴール

私たちが目指す地域の将来像(姿)について意見を交わし、思いを集め、みんなで清水口小学校区のまちづくりの将来像を1つ決定する。

1. 6/18(木)絞り込み

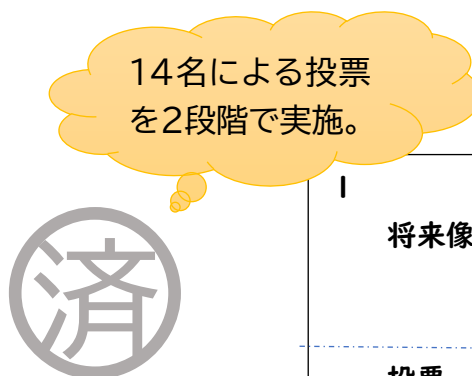
【手順】

投票により、3案ほどに絞り込む

(1)1人3票

(2)1案につき1票

※一覧は別途配布



2. 7/5(日)最終絞り込み

【手順】

1. (6/18)により絞り込まれた以下の3案について投票(挙手)により決定

※参加者1名あたり1票とします。

★「つながりが育む、にぎわいを育む、心安らぐみどりのまち」

★「みんながつながり、笑顔でにぎわう、みどりのまち」

★「自然とにぎわいが育む、安心な街」

1 将来像

「つながりが育む、にぎわいを育む、心安らぐみどりのまち」

【理由・思い】

- ・清水口のシンボルに、七次第一公園の芝生広場や夏まつりをあげる声があること
- ・景観、安全を推す声が多いこと
- ・景観の象徴は、芝生広場、緑道、など「みどり」を想起させるなどを、まちづくり協議会のコンセプトをあらわす語として「つながり」と絡めました。

2 将来像

「みんながつながり、笑顔でにぎわう、みどりのまち」

【理由・思い】

- ・清水口のシンボルに、七次第一公園の芝生広場や夏まつりをあげる声があること
- ・景観、安全を推す声が多いこと
- ・景観の象徴は、芝生広場、緑道、など「みどり」を想起させるなどを、まちづくり協議会のコンセプトをあらわす語として「つながり」と絡めました。

3 将来像

「自然とにぎわいが育む、安心な街」

【理由・思い】

アンケートのキーワードにあった公園・池・白鳥(自然)やお祭りや学校行事など(文化、にぎわい)を通じて、人々の挨拶や対話が生まれ、対話による関わりが生まれ、関わりからたくさん人のゆるいつながりが生まれているのを見かける。

散歩するとよく挨拶してくれるおばあさん、名前は知らないけど笑顔で挨拶。それをみている子どももなんとなく挨拶して、つながる。このゆるいつながりは、防災・防犯、子育て、子や高齢者の見守り、インクルーシブな住みやすい地域、安心を育てていく。

「街」としたのは、至るところにある人々のつながり(集まり)を表したかったから。